

ヨーロッパをはじめ、世界各国の映画祭で絶賛された、 人生の素晴らしさを知る感動作!!

人生で大切なのはどう生きるかを自ら選ぶことだ。
その真実を、まさに「命」をもって描いた力作だ!

伊藤準也 さん (監督 / 脚本 / 写真家)
「尊厳死」という深刻なテーマを
正面から描きつつも、
最後には温かい気分に浸れる作品。
おおたわ史絵 さん (内経典 / 作監)

最初から最後まで泣き通し……。
キキは当時の私でした。でも、大丈夫。
もらった「グッドライフ」は
その後もずっと続いています。

金子稚子 さん
(脚本 / シナリオ / 監修 / 演出 / ナリスト / 金子哲雄夫人)

誰もが知らない人生の結末。
愛する人に抱かれて死ぬのもありかなと、
ふと頭を過った瞬間。あら、また涙が……。
萬田久子 さん (女優)

死があるから、生きる喜び、幸せがある。
そして、愛が死をのりこえさせてくれる。
自分だったら……そう考えさせられる
素晴らしい映画です。

宮西達也 さん (脚本 / 監督)
愛する人や仲間とどれだけ
「尊厳ある死」を分かち合えるかが、
幸せな最期の鍵となるのだろう。
森田豊 さん (医師 / 監修 / ナリスト)

© 2014 東宝



君がくれたグッドライフ

最期の旅は、
泣かないと決めていた――

年に1度、
親友たちと出かける
5日間の自転車旅行。
今年、ハンネスが
ベルギーを選んだのには、
ある理由があった。

